

事務局からのお知らせ

● 事業実施状況報告(2月末)

		令和5年	令和6年
会員数(人)	男	1,353	1,360
	女	494	509
	計	1,847	1,869
就業実人員(人)※		1,574	1,579
就業率(%)		85.2	84.5
受注件数(件)	公共	59	62
	民間	3,470	3,558
	派遣	142	57
請負契約金額(千円)		664,966	690,621
派遣契約金額(千円)		130,863	129,592

※「就業実人員」数は、請負契約及び派遣契約の就業会員の合算数値になります。



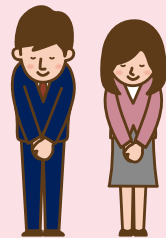
● 事務局からお願い

◎ 「ゆずりは」配布の変更について

7月20日発行の「ゆずりは」から、閲覧及び配布方法が次のとおり変更となります。

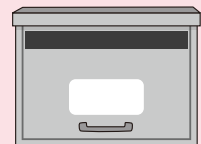
①ホームページからの閲覧、②センター又は、パレット柏の窓口での受け取り、③近隣センターでの受け取り、このいずれかの方法で、ご覧いただくようになります。

IT化の推進と経営の合理化を図るため、会員皆様のご理解ご協力の程宜しくお願い致します。



◎ パレット柏での受付

パレット柏は、平日の午前10時から正午まで、午後1時から午後4時までの時間帯で作業日報、勤務実績通知書等の受取に対応しています。



提出書類等管理簿に必要な事項を記入の上、専用ボックスに提出書類を入れてください。

編集後記

令和6年は、元旦に発生した能登半島大地震の自然災害で、正月気分が覚めて始まりました。地盤隆起、液状化及び崖崩れ等によりライフラインが破壊され、高齢化率の高い地域での地震の為、避難生活も大変な状況となっています。

千葉県東方沖でも群発地震が頻発しています。関東地方でも大地震が発生する可能性が非常に高くなっており、私達シニア世代は特に他人事とせず、備えを十分に自然災害に備えましょう。

【広報部会S】

ゆずりは

第131号

編集・発行 令和6年4月20日

公益社団法人 柏市シルバー人材センター

〒277-0004 千葉県柏市柏下66-1

柏市保健勤労会館2階

TEL 04-7166-6681 FAX 04-7163-4150

URL <http://kashiwa-sjc.or.jp>

メール kashiwa@sjc.ne.jp

■ 配分金支払日

<input type="checkbox"/> 3月分	4月25日(木)
<input type="checkbox"/> 4月分	5月27日(月)
<input type="checkbox"/> 5月分	6月25日(火)

※毎月の配分金明細書が必要な方は、事務局へご連絡の上、窓口までお越しください。

ゆずりはクイズ Part59

Q1、令和6年度安全標語の最優秀賞は何でしょうか？

Q2、シルバーの顔の菊井さんの就業先は小学校の何ルーム？

Q3、7月号のゆずりはの閲覧及び配布方法が変わりますが、①ホームページからの閲覧、②センター又は、パレット柏の窓口での受け取り、その他は？

☆ヒント：2面、4面、8面を見てください。

◎ 答をハガキに書いて事務局に送ってください。締め切りは **5月10日(金)** です。正解者の中から、抽選で素敵な品を差し上げます。ご応募をお待ちしています。

会員番号と氏名を忘れずに書いてください。

◎ ゆずりはクイズ Part58の正解

Q1の答：広報資料

Q2の答：約6割

Q3の答：オレオレ詐欺

応募数20通
うち正解者数
16通でした。

お願い 作業日報の提出について

作業日報は、締日から3日後まで（月末締めは翌月3日まで）にセンターへ提出をお願いします。

郵便事情により、センターに届くまで時間がかかり、発注者から請求書の催促をされることが増えています。作業終了後、速やかにセンターへ提出するようご協力をお願いします。

目次

- 2P 安全標語 / 安全だより / 地域班地区長会議
- 3P シルバーサロン / 駐輪場班会議 / 新入職員紹介
- 4P シルバーの顔 / 植木班会議 / 除草班会議
- 5P スマートフォン講座 / 交通安全講話 / 安全研修会
- 6P 植木剪定講習会 / 刈払機取扱講習会 / 近隣センター接遇研修会
- 7P 駐輪場受付事務講習会 / 介護サポートサービス情報
スマイル to スマイル
- 8P 事務局からのお知らせ / 編集後記



柏西地区(旭町班) 菊井 幸代さん
P4をご覧ください!!

令和6年度 柏市シルバー人材センター
安全標語最優秀作品

「指差し、声出し、再確認」 皆で実行 事故防止

令和6年度

安全標語が決定しました!

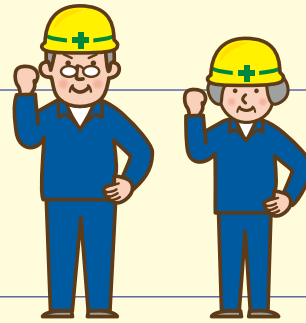
たくさんのご応募ありがとうございました。



最優秀賞

「指差し、声出し、再確認、皆で実行 事故防止」

おおがね みずお
大金 瑞雄 会員



優秀賞

「作業開始時に 作業手順確認 事故防止」

すずき まさはる
鈴木 雅春 会員



佳作

「安全は 無理せず 焦らず 余裕から ゆとりの心で事故防止」

やまじ しょうじろう
山次 省治郎 会員

今年度も、安心・安全な就業をお願い致します。



安全だより

安全委員会委員長

この度の令和6年能登半島地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。地震は予知ができません。家財道具の固定や防災用品を備える、避難場所を確認しておくことや防災訓練に参加するなど、日ごろからの心がけや取り組みが大切です。

さて、令和5年度の事故発生状況をみますと、総件数では残念ながら前年度より増えています。就業中の事故件数は減少傾向にありますが、就業に向かう途上での転倒や交通事故が増加しているのです。長期入院やリハビリを余儀なくされている会員もいらっしゃいます。早期の回復を願わずにはられません。そして、ほとんどの事故は回避できたのではないかと考えています。就業に向かう

時は時間に余裕を持つことや自転車に乗るときはヘルメットを着用しましょう。センターでは安全講習会や交通安全講話を開催し、安全委員会では計画に基づき安全パトロールや事故当事者を対象にした安全研修としてKYT研修を行っています。参加していただける会員が少ないのが課題となっています。会員の皆様におかれましては、積極的に参加していただきますようお願いいたします。

また、今後の取り組みとして、事故の実例を安全研修の資料に活用することや、職群班会議や新入会員研修での安全就業に係る周知等、より多くの会員の皆様に受講していただける方策について、検討していきます。センターでは、これからも無事故を目標に取り組んでまいります。

令和5年度 第2回地域班地区長会議開催

1月22日(月)、第2回地域班地区長会議が大会議室にて開催されました。参加者は田口会長他22名。木下好則総務部会部会長の司会進行により、田口会長の挨拶で始まりました。今回の会議は、昨年末開催された地域班全体会議での地域班活動に係るアンケート結果に基づき、今後の地域班の方向付けを継続審議するため開催されました。

最初に、アンケート結果について事務局から報告されました。結果は、①後任役員選出については、難航、困難であるという意見が65%、地域班活動に興味がない、面倒であるという消極的な意見が64%



と非常に厳しい結果でした。②地域班活動についても、班会議を開催したが出席者は少ない現状。③今後の地域班の存続については、72%が存続は難しいという回答でした。

一方で、地域交流の手段としての何らかの方法での活動が必要であるとの意見もありました。その一例と

● シルバーサロン開催

2月20日(火)パレット柏で「シルバーサロン」が開催されました。当日は、女性部会のメンバーを中心にジョブコーディネーターと事務局を含め8名で、来所された市民の方に対応しました。開始時間が近づく頃には、数名の市民が会場前に集まり、16人が来場され、その内入会説明会の参加を希望された方は14人となり、ほとんどの方が入会希望をされました。

今回のシルバーサロンは、比較的女性の来場者が多く、多くの方は市の広報紙を見て来られた方や会場入口の案内板を見て来場される方も数人いました。面談では、シルバーの仕事の内容や自分に合った職種があ

して、イベントや親睦を深める活動が紹介されましたが、地域班本来の活動とは異なるので、再度検討することになりました。

地域班設立の経緯や現在の活動状況から、地域班の在り方や会員にとってどのような活動が必要なのか等、今回の参加者の意見を踏まえ、継続審議していく予定です。

るのか、具体的な就業内容についてジョブコーディネーターに質問をされていました。

このサロンは、シルバー人材センターとの最初の出会いの場であり、来場者の求めている内容に的確に応えることで、会員の拡充に繋がります。今後も継続的に活動しますので、会員の皆さんもお知り合いの方やご近所の方へのご案内をよろしくお願いいたします。



● 第3回駐輪場班会議

令和5年度第3回駐輪場班会議が12月20日センター大会議室で開催されました。会議は、各駐輪場の連絡員と事務局職員を含めて8名で行われました。

この時期は、来年度の駐輪場の使用申請手続きの窓口業務の準備が始まり、その作業でとても忙しい時期になります。特に、来年度は市役所のシステム変更があり、駐輪場受付業務にも変更が求められます。



会議は、来年度の受付業務の変更点や注意事項を「駐

輪場受付業務フロー」や「具体的な窓口での対応業務」等、資料に基づき全員で、予想される混雑時の対応方法について協議が行われました。

また、駐輪場で就業している全会員を対象に、「駐輪場受付業務事務講習会」を6回に分けて実施することが伝えられました。柏市から委嘱されている6カ所の駐輪場は、それぞれ広さや環境、利用状況等が異なり、その駐輪場にあった対応が要求されます。

受付期間は、現在の就業人数だけでは不足する駐輪場もあり、シフトの再編成や応援人材の確保の必要性も出てきます。

駐輪場業務に対応される会員の皆さんは、連絡員を中心に変更点等を情報共有し、この山場を乗り越えていきましょう。

新入職員紹介

事務補助
スタッフ

すずむら けいこ
鈴木 啓子



近隣センター
集金業務

いしくら やすあき
石倉 泰明



山口常務理事、事務補助の有川さん、近隣センター集金業務の永井さんが退職されました。お疲れさまでした。

シルバーの顔

● シルバーでの仕事

菊井さんは小学校の「子供ルーム」で就業されています。主な仕事は、放課後に子供達を預かり、勉強の見守りや読書、折紙遊びや、時には校庭で子供達と一緒に遊んだり、話し相手になったりと、いつもあつという間に時間が過ぎてしまうそうです。子供達を預かるのは責任を伴いますが、とても有意義な仕事です。週に2日勤務し、他の就業者と共に可愛い子供達との時間を過ごしています。

● 仕事のきっかけと普段思うこと

元々子供が大好きで、「子供ルーム」の他に、幼稚園のお迎えの仕事や、ボランティアでお年寄りへのお声かけの「お元気コール」もなさっており、献身的な菊井さんの人柄を感じました。

シルバー人材センターへの入会は、フィットネスクラブで知り合った友達の紹介で、今の仕事に出会って本当に良かったと感謝しているとのこと。子供達からは、明るい笑顔からパワーをもらえると喜んでいました。

また、シルバー人材センターの女性部会でも部会員として活躍中です。

この仕事は、女性の方には向いている仕事で「シ



柏西地区
(旭町班)
菊井 幸代さん

ルバーサロン」をきっかけに入られる女性会員の方はもちろん、会員の方々のご友人にも是非お勧めしたいとのことでした。

● 趣味とご家庭

手芸好きでその作品は周囲の方にも喜ばれています。現在は、ご主人と二人暮らしの菊井さん。ご本人は北海道、ご主人は九州出身。今は、お二人の出身地の中間地点となる柏市の利点を生かして、ご夫婦で旅行や映画鑑賞、週に一度の外出と人生を満喫されている様子でした。

所作業中の転落事故が発生しています。今後も作業の安全、KYTで事故防止に努めてもらいたいです。

また、苦情については数件ありましたが、発注者との間で誤解のないよう説明し、ご理解いただけるよう努めることが大切です。

植木作業は屋外作業となるため、冬場の寒い時期の体調管理について、内山班長から話がありました。

全体の協議事項については、各班の受注状況の確認と当面の懸念事項、安全就業、就業開始時間の徹底等について話し合いが行われました。

最後に、長年植木班で就業された鶏飼会員から退任の挨拶があり会議が終了しました。

5%となりました。1月から3月までは、除草作業の依頼が大幅に減少します。今後、作業の受注については、事務局と班員の連携強化を図り、取りこぼしのないよう対策について検討を行いました。

安全就業では、刈払機使用時の安全対策について協議されました。今年度は、刈払機使用時の事故が



● 第6回植木班会議

今年度6回目の植木班会議が12月21日にシルバー人材センター大会議室にて開催されました。通常の植木班会議は、各班の班長のみ出席し開催されますが、今回は内山班長の呼びかけにより、植木班に所属している全会員が出席されました。

初めに事務局から「各班の動向」や「安全就業に係わる報告」「顧客苦情・クレーム」、「連絡事項」等の報告がありました。11月に植木班で発生した事故はありませんでしたが、全国では高



● 令和5年度 除草班会議開催

令和5年度除草班会議が1月31日(水)センター大会議室で開催されました。会議は高橋班長の挨拶から始まり、次第に沿って議事が進められました。出席者は、高橋班長他11名の参加がありました。

今回の議題は除草作業の受注件数の推移、安全就業、交通安全講話、刈払機講習会、除草班会員の増強についての5つの内容でした。

12月末までの作業件数は、昨年度の実績に比べて9

1件発生し、県内でも同様の事故が発生しており、その事例報告がありました。

また、交通安全講話や、刈払機講習がありますが、就業途上と就業中における安全意識の徹底をお願いします。

● スマートフォン講座開催

2月14日(水)シニア向けスマートフォンの使い方講座が大会議室で開催されました。講座は、午前と午後に分かれて開催され、最近スマホの利用者も増えたこともあり、定員各10名(合計20名)を上回る申込がありました。

この講座は、NTTドコモの御協力によって実施され、アプリのインストール方法、SNS(主にLINE)の使い方、スマホを安全に使うためのポイント、マイナンバーカードの申込方法について、ドコモショップの高峰副店長の

● 交通安全講話開催

2月20日(火)に通勤時における事故防止を図るため、交通安全講話が大会議室で開催されました。当日は、講師として柏警察署交通課と柏市役所の防災安全課の方が来られ、わかりやすく説明していただきました。今回は、18名の会員が参加し、熱心に講話を聴いていました。

最初に柏警察署交通課の方から令和5年度の交通事故の現状、市内での交通事故4,186件、負傷者が1,308



人、死亡者5人、との報告があり、通勤時に起こりうる交通事故に対し、改めて認識をしました。さらに、最近努力義務化された自

● 安全研修会

3月21日(木)に安全研修会が開催されました。この研修会は、就業されている会員の安全確保のために毎年開催される重要な研修会となっています。特に、KYT(危険予知訓練)は職場における安全確保には必須の内容です。今回は、安全委員会の寺田委員長が講師となり6名の会員が参加されました。

最初に行われたオリエンテーションでは、愛知県であった重篤な事故事例を紹介、悲惨な事故もKYTが確実にこなわれていれば防げていた事故かもしれないと、受講者に強くその必要性が伝わったと思います。次に、安全のDVDを視聴し、「指差呼称」「KYTのやり方」「1人KYTの必要性」等を学習しました。寺田委員長の

最後の議題では、「除草班名簿」に基づき北部地域の就業会員の増強や、班同士の連携について、協議が行われました。除草班の活性化を図るため、今後もいっそうの受注拡大と就業会員の拡充が望まれます。

他3名の講師がテキストに基づいて進めました。

受講者は、普段から使用しているスマホを持参し、講師からの説明だけでは理解できないところは個別に質問をしたり、実技指導も頂きました。

今回のスマートフォン講座をきっかけに、スマホの利便性を理解し、自由にスマホを使いこなして、家族や友人等の交友関係の発展につながることを期待したいです。



転車乗車時のヘルメットの着用について、その重要性の再認識がされました。

また、千葉県では自転車保険の加入が義務化され、自転車による事故は増加傾向にあります。自分の怪我はもちろんですが他人を巻き込む事故も多発し、多大な賠償金が発生しているようです。

「高齢歩行者・自転車の事故」のDVDを見たあとに参加者から、交通に関する疑問点や自転車走行時の注意点について多くの質問がありました。今回の参加者の多くは、自転車用ヘルメットを着用されていましたが、まだお持ちでない方は是非着用することをお勧めします。

最後に「自転車安全利用の推進宣言」を事務局長が読み上げ、参加者全員で事故の撲滅を誓い合いました。

声かけで受講者全員での危険情報の気づきと行動目標、指差呼称のやり方等の実技訓練も行いました。その後、受講者の職場における危険箇所を想定した話し合いを行い、KYTの重要性がより実感できたようです。

安全については、いつも注意をする心がけはもちろんです。自分の安全は自分で守るために、「指差し呼称」「1人KYT」を実行してみませんか？

今回の受講者も「KYT」を初めて認識され、その大切さを実感されたようで、非常に充実した研修会となりました。次回の研修は、多くのご参加をお願いいたします。



● 更なる技術向上へ 植木班剪定講習会

2月7日(水)積雪が残る中、午前と午後に分かれて植木班の剪定講習会が千葉大学柏の葉キャンパスで行われました。講師は、同大学の本間雄二氏で丁寧な指導をいただきました。参加者は、内山班長をはじめ、植木班の22名でした。

午前中の講習は、初心者を対象とした内容で、午後はベテランの会員を対象に実施されました。初心者の方には、植木のどこを切ったら良いのかから始まり、モッコクの剪定や五葉松の枝透かし等の実技講習を実施し、受講者からの質疑応答にも対応しながら、それぞれの能力にあった教え方で講習が進められました。

また、最近よくお客様からの要望も多い柿の木の剪定について、枝が広がりすぎない方法や、剪定後に実が付きやすい方法、梅の育て方等について、様々な質問に

も具体的な話をさせていただきました。

植木の剪定作業は、個人の技量に頼ることが多い業務です。受講者の剪定方法を見ながら講師から具体的な指導もいただきました。

このように専門家の実技指導に加えて、植木班の仲間との剪定作業を見て、学べることは、この講習会の特徴であり、その成果は非常に大きいと感じました。そして、発注者からの要望等について、会員同士の情報共有も行われ、植木班のチームワークの良さにも繋がっていると感じました。講習会で得られた知識は、お客様の庭できっと役立つことでしょう。



● 刈払機講習会開催

3月13日(水)、増尾城址公園にて刈払機講習会が開催されました。講師は、やまびこジャパン株式会社の農業機械整備技能士である戸田課長氏。今回は、強風のなかでの講習会となりましたが、10名の会員が参加しました。

最初に、刈払機の正しい使い方を教科書で確認しながら講師の話に耳を傾けていました。刈払機の作業は、少しでも気を抜くと大怪我に繋がります。「安全第一」を基本に、講師からは事故事例を交えながら刈払機の取扱に



ついて説明があり、参加者は身を乗り出して聞き入っていました。事故事例には、作業環境の状況によるもの

に加え、刈刃による怪我、刈払機の使い方の不備等がありました。作業する際は、作業環境の確認や刈払機の正しい使い方、怪我防止のための防護用具の装着が必要であると認識することが出来ました。

その後、参加者が持参した刈払機で、実技講習が行われ、具体的な個別指導がありました。混合オイルの知識や歯の交換方法、エンジンのかけ方、普段のメンテナンスの方法等、講師の熱心な指導に加え、参加者から数多くの質問があり、丁寧に答えていただき、有意義な講習会となりました。

刈払機による除草作業は、事故が発生する危険性が高く、取扱には最も気をつける必要があります。これからの時期は繁忙期に向かいます。今回、講習会に参加された方は、講習の成果を生かして、安全第一の作業を心掛けて頂きたいと思えます。

● 近隣センター接遇研修会開催

3月6日(水)にセンターの大会議室で近隣センターに就業されている会員を対象として接遇研修が開催されました。本研修は毎年開催されており、今回は、アップグロース社の代表、宮澤氏を招いての開催となり、25名の方が参加しました。

研修内容は、①サービス業で働く会員の役割、②接遇の基本、③苦情の原因と事例、④苦情対応の基本、⑤情報管理の徹底、⑥ハラスメント問題等、多岐にわたる内容となり、最後に「交流分析」の手法である「エゴグラムチェックシート」を使い、参加者個人の特性を分析し、相手を知ること、そして自分を知ること、そこから始まる人間関係とコミュニケーション作りについて、講義がありました。

研修では、近隣センターの就業中によくある具体的な事例が多く、講師と受講者の対話も多く行われ、今後の就業に役立つものとなりました。

近隣センターには様々な方が来られます。「接遇」の基本である好感もてる笑顔、身だしなみ、挨拶、態度等の面で、ちょっとした心遣いが大切であると感じた研修会になりました。

研修会に参加された方は、研修内容が整理された資料を基に、それぞれの近隣センターにて就業会員のメンバーの方々にもその内容を共有し、接遇力の向上に生かしていただきたいです。



● 令和6年度 駐輪場受付事務講習会

駐輪場利用者の受付事務に係る講習会が、市内6カ所の駐輪場で就業している会員を対象に、1月16日から22日まで6回に分けて開催されました。

駐輪場利用に係る受付業務は、2月から行なわれる重要な業務です。今回の受付事務からシステムの変更があり、その変更内容や注意点等を、実際の業務に携わる会員への講習です。

講習会は事務局職員が講師となり、延べ71名の会員が参加しました。講習内容は、①前年度との相違点、②令和6年度の受付業務フロー、③書類の説明と活用方法、④窓口業務の対応方法、⑤中止手続の方法と再交付手続き、⑥今後のタイムスケジュール等について説明がありました。その後、参加者から多くの質問や前向きな提案等があり、活発な意見交換が行われました。

駐輪場利用に係る手続きは、オンラインによる申請と書類による申請の2パターンがあります。特に、書類で手続きを行なう場合は、駐輪場の窓口で行ない、学生やその保護者等の代理申請の方、一般で申請される方等、様々な利用形態の方が来られ、個人情報の取扱いも含めて複雑な作業になります。講習会に参加された方々は、それらを踏まえて真剣な表情で臨み、発言をしていました。

受付期間中は、申請者が集中する時期で、業務量も増え、大変な就業となりますが、就業会員の皆さん、共働・共助で頑張ってください。



介護サポート サービス情報

8

「介護サポート」の就業会員の体験などをシリーズでお届けしています。皆さんの参考としていただければ幸いです。
(取材 女性部会役員)

- 内 仕事の内容
- 苦 苦勞したこと
- 始 仕事を始めるのに不安だったこと
- 楽 楽しいと思うこと
- 慣 慣れるのに要した期間
- 続 就勞期間、継続するためのポイント

体験1 (1さん)

- 内 高齢者施設にて室内清掃(トイレ、洗面所含む)とベッドメイキングのお仕事です。就業形態は、週3日 9:30~14:30。仕事の効率とトラブルを避けるため3人1組で作業しています。
- 苦 特に思い当たりませんが、職員の方が「家ですることを同じようにするだけですよ」と励ましてくれました。
- 始 習い事も続けたいと思っていたので、仕事が続けられるか不安でしたが、リーダーの方が、シフトの変更等の相

- 談にのってくれるので、どちらも両立出来ています。
- 楽 「ありがとう」と言われることですね。仕事の合間に入居者様と会話をするのも楽しいです。
- 慣 すぐに慣れたように思います。ずっと専業主婦でしたが新しい世界に踏み込んだ感じでした。
- 続 今年の夏で6年目に入ります。やはり健康ですね。就業場所には、80代半ばで元気に働いている方がおられます。とても良いお手本です。

● 「smile to smile」(スマイル トゥ スマイル)が開始

「smile to smile」は、センターからIDを発行された会員が利用できる会員専用サイトであり、シルバー人材センターと会員とのコミュニケーションツールになります。

会員の皆さんは、「smile to smile」に事前登録することにより、会員専用ページからシルバー人材センターからの情報(お知らせ・就業情報・配分金明細等)を確認することができます。

事前登録するためのID、仮パスワード、登録方法については、会費納付書に同封していますので、そちらを

- 参照し、登録手続きをお願いします。
- お知らせ...センターからのお知らせが表示されます。
- 就業情報...就業者を募集している仕事の一覧が確認できます。就業を希望する場合は、就業希望登録を行うことができます。
- 配分金明細の確認...配分金明細が確認できます。



こちらのQRコードを、スマートフォン等のカメラ機能で読み取ると、Smile to Smileの会員専用WEBサイトへアクセスが可能です。